

令和7年度 第3回 世田谷区男女共同参画・多文化共生推進審議会
多文化共生推進部会 次 第

令和8年1月29日(木)
10時～12時(予定)
梅丘パークホール

1 開会

2 議事

[報告事項]

- (1) 世田谷区内在住外国人の状況について・・・・・・・・・・・・・・・・資料1
- (2) せたがや国際交流センター(クロッシングせたがや)の事業報告について・・資料2
- (3) 「これからの国際交流のあり方」の見直し検討状況について・・・・・・・・資料3

[協議事項]

- (1) 令和8年度「世田谷区における外国人区民の意識・実態調査」調査票案について
・・・・・・・・資料4
- (2) 令和8年度「世田谷区における外国人区民の意識・実態調査」の分析項目について
・・・・・・・・資料5

3 その他

[情報提供]

- (1) 令和7年度「せたがや会議～みんなで考える多文化共生のまち」実施報告書
・・・・・・・・資料6
- (2) 第9回せたがや国際メッセ&第7回ホストタウンコンサートチラシ
- (3) 今後の帰国・外国人児童・生徒に対する支援の拡充について・・・・・・・・資料7

4 閉会

□ 今後の予定

令和7年度第3回男女共同参画・多文化共生推進審議会
日時：令和8年2月12日(木) 15時～17時
場所：三茶しゃれなあどホール シリウス

【事務局】

世田谷区生活文化政策部文化・国際課
電話 03-6304-3439 FAX. 03-6304-3710

1. 地区別・地域別外国人人口について

(1)地区別外国人人口(比率順)【表1】

1年前の順位	順位	地区名	外国人人口	総人口	比率
1	1	大原	533	8,380	6.36%
2	2	野毛	317	6,197	5.12%
3	3	玉川	613	12,498	4.90%
6	4	上馬	1,053	21,543	4.89%
4	5	北沢	884	18,682	4.73%
11	6	羽根木	335	7,290	4.60%
5	7	瀬田	708	15,618	4.53%
9	8	三軒茶屋	590	13,084	4.51%
8	9	上北沢	750	16,998	4.41%
10	10	代田	1,006	23,756	4.23%
7	11	玉川田園調布	101	2,403	4.20%
12	12	上野毛	527	12,921	4.08%
14	13	用賀	647	15,891	4.07%
15	14	代沢	671	16,757	4.00%
16	15	鎌田	310	7,910	3.92%
13	16	南烏山	908	23,855	3.81%
17	17	太子堂	721	19,186	3.76%
20	18	池尻	612	16,546	3.70%
19	19	玉川台	246	6,697	3.67%
31	20	三宿	317	8,672	3.66%
21	21	松原	1,101	30,229	3.64%
22	22	駒沢	581	16,743	3.47%
24	23	中町	528	15,488	3.41%
28	24	宮坂	403	11,835	3.41%
18	25	玉堤	205	6,099	3.36%
33	26	桜上水	477	14,257	3.35%
27	27	東玉川	281	8,578	3.28%
32	28	八幡山	253	7,776	3.25%
35	29	下馬	909	28,024	3.24%
29	30	尾山台	216	6,679	3.23%
34	31	奥沢	919	28,554	3.22%
25	32	野沢	499	15,517	3.22%
26	33	上祖師谷	620	19,281	3.22%
38	34	若林	630	19,775	3.19%
30	35	深沢	778	24,736	3.15%
42	36	桜丘	613	20,168	3.04%
36	37	赤堤	614	20,276	3.03%
37	38	梅丘	273	9,046	3.02%
44	39	世田谷	497	16,587	3.00%
45	40	経堂	618	20,684	2.99%
23	41	宇奈根	169	5,827	2.90%
41	42	給田	390	13,477	2.89%
39	43	新町	239	8,380	2.85%
52	44	船橋	771	27,289	2.83%
40	45	岡本	237	8,445	2.81%
48	46	粕谷	366	13,180	2.78%
43	47	桜新町	216	7,825	2.76%
50	48	弦巻	683	25,279	2.70%
47	49	砧	714	26,916	2.65%
46	50	等々力	710	27,557	2.58%
49	51	喜多見	498	19,785	2.52%
53	52	北烏山	672	26,896	2.50%
51	53	上用賀	364	14,757	2.47%
54	54	豪徳寺	161	6,791	2.37%
57	55	成城	529	23,231	2.28%
58	56	大蔵	163	7,440	2.19%
55	57	祖師谷	421	19,318	2.18%
56	58	桜	267	12,314	2.17%
59	59	千歳台	342	19,349	1.77%
計			30,776	929,272	3.31%

※比率は各地区の総人口に対する外国人人口の割合。

※赤字は昨年度より比率が上昇している地区、青字は低下している地区。

(2)地区別外国人人口(人口順)【表2】

1年前の順位	順位	地区名	外国人人口	総人口	比率
1	1	松原	1,101	30,229	3.64%
3	2	上馬	1,053	21,543	4.89%
2	3	代田	1,006	23,756	4.23%
6	4	奥沢	919	28,554	3.22%
7	5	下馬	909	28,024	3.24%
4	6	南烏山	908	23,855	3.81%
5	7	北沢	884	18,682	4.73%
8	8	深沢	778	24,736	3.15%
15	9	船橋	771	27,289	2.83%
11	10	上北沢	750	16,998	4.41%
12	11	太子堂	721	19,186	3.76%
13	12	砧	714	26,916	2.65%
10	13	等々力	710	27,557	2.58%
9	14	瀬田	708	15,618	4.53%
18	15	弦巻	683	25,279	2.70%
19	16	北烏山	672	26,896	2.50%
16	17	代沢	671	16,757	4.00%
17	18	用賀	647	15,891	4.07%
22	19	若林	630	19,775	3.19%
14	20	上祖師谷	620	19,281	3.22%
26	21	経堂	618	20,684	2.99%
20	22	赤堤	614	20,276	3.03%
23	23	玉川	613	12,498	4.90%
25	24	桜丘	613	20,168	3.04%
24	25	池尻	612	16,546	3.70%
27	26	三軒茶屋	590	13,084	4.51%
21	27	駒沢	581	16,743	3.47%
33	28	大原	533	8,380	6.36%
32	29	成城	529	23,231	2.28%
29	30	中町	528	15,488	3.41%
30	31	上野毛	527	12,921	4.08%
28	32	野沢	499	15,517	3.22%
31	33	喜多見	498	19,785	2.52%
34	34	世田谷	497	16,587	3.00%
35	35	桜上水	477	14,257	3.35%
36	36	祖師谷	421	19,318	2.18%
37	37	宮坂	403	11,835	3.41%
38	38	給田	390	13,477	2.89%
40	39	粕谷	366	13,180	2.78%
39	40	上用賀	364	14,757	2.47%
44	42	羽根木	335	7,290	4.60%
42	43	野毛	317	6,197	5.12%
47	44	三宿	317	8,672	3.66%
43	45	鎌田	310	7,910	3.92%
45	46	東玉川	281	8,578	3.28%
46	47	梅丘	273	9,046	3.02%
48	48	桜	267	12,314	2.17%
52	49	八幡山	253	7,776	3.25%
51	50	玉川台	246	6,697	3.67%
49	51	新町	239	8,380	2.85%
49	52	岡本	237	8,445	2.81%
54	53	桜新町	216	7,825	2.76%
55	54	尾山台	216	6,679	3.23%
53	55	玉堤	205	6,099	3.36%
56	56	宇奈根	169	5,827	2.90%
58	57	大蔵	163	7,440	2.19%
57	58	豪徳寺	161	6,791	2.37%
59	59	玉川田園調布	101	2,403	4.20%
計			30,776	929,272	3.31%

※赤字は昨年度より外国人人口が増加している地区、青字は減少している地区、緑字は人口が変わらない地区。

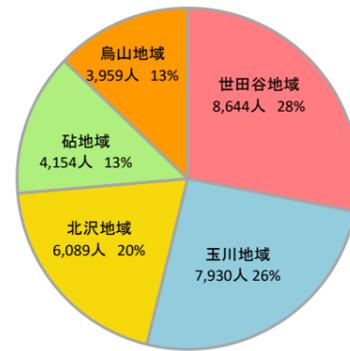
出典:住民基本台帳(令和7年12月1日)

(3)区内各地域の外国人人口・比率【表3】

地域	外国人人口	総人口	比率	1年前の比率
世田谷地域	8,644	256,042	3.38%	3.05%
玉川地域	7,930	229,902	3.45%	3.26%
北沢地域	6,089	156,355	3.89%	3.58%
砧地域	4,154	165,510	2.51%	2.26%
烏山地域	3,959	121,463	3.26%	3.03%
計	30,776	929,272	3.31%	3.04%

※比率は各地域の総人口に対する外国人人口の割合。

世田谷区全体の外国人人口に対する地域別外国人人口【図1】(世田谷・北沢・玉川・砧・烏山)



出典:住民基本台帳(令和7年12月1日)



1. 地区別・地域別外国人人口について

○令和6年12月より約2,700人増加しており、ほとんどの地区において外国人比率・人口ともに増加している。【表1・表2】

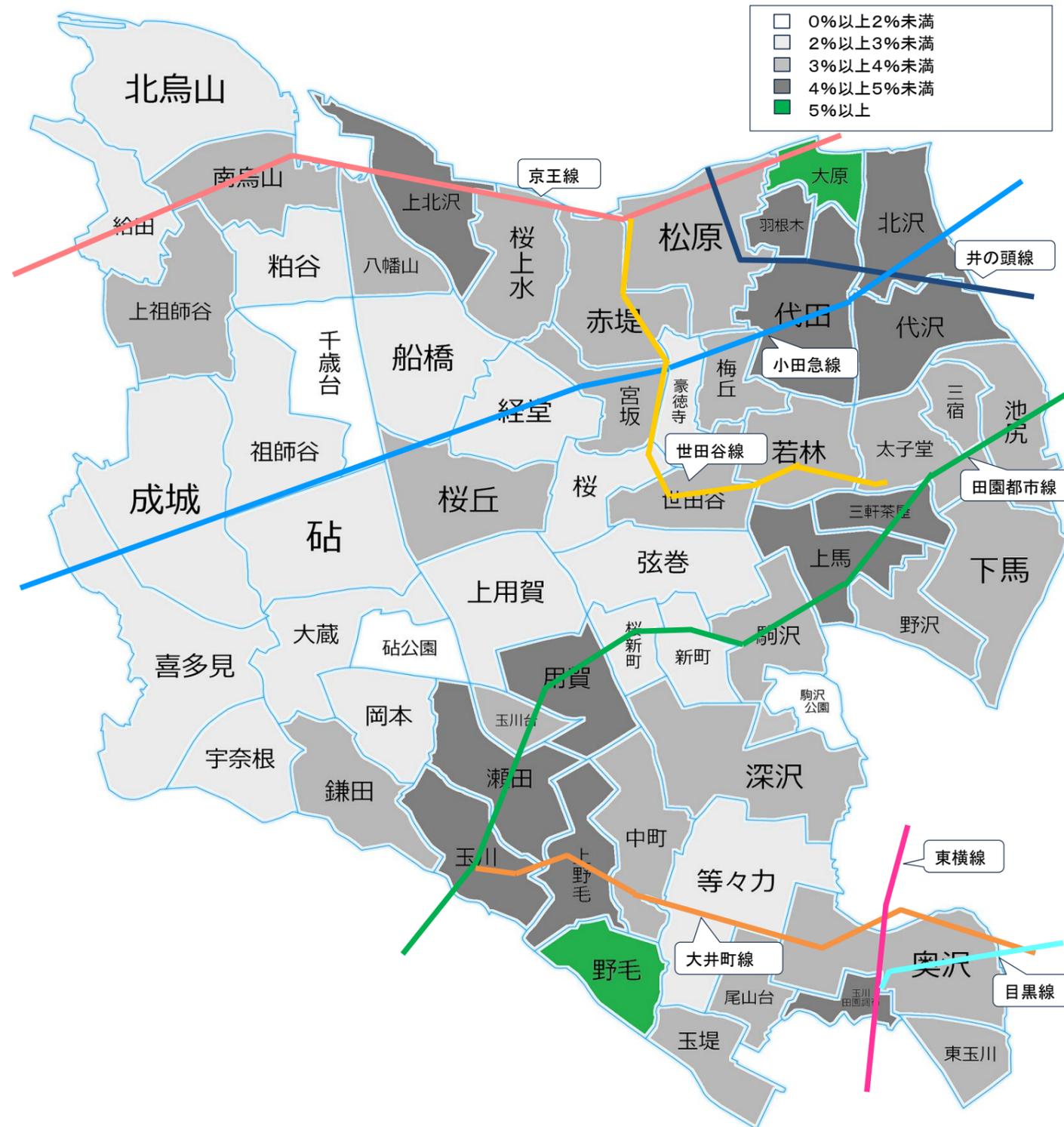
○各地区における在住外国人比率が最も高い地区は大原(北沢地域)である。区全体の外国人比率3.31%に対し、6.36%と高い数値となっている。【表1】

○各地区における在住外国人比率が最も低い地区は千歳台(砧地域)の1.77%である。【表1】

○世田谷地域は外国人人口が8,600人を超えている。一方、総人口に占める外国人人口の比率は北沢地域が最も高く(3.89%)、砧地域が最も低い(2.51%)。【表3】

○世田谷区全体の外国人人口(30,776人)に対する地域別外国人人口内訳を見ると、世田谷地域及び玉川地域の合計が5割を超えている。【図1】

(4)地区別外国人比率【図2】



○外国人比率が5%を超えている地区は大原と野毛である。

○外国人比率が2%未満であるのは千歳台のみである。(砧公園・駒沢公園を除く)

○世田谷区を中心に近い地区よりも、他区や川崎市に隣接している地区において外国人比率が高い傾向にある。

○田園都市線沿いの地区において外国人比率が高く、沿線から離れた地区においては比率が低い傾向にある。

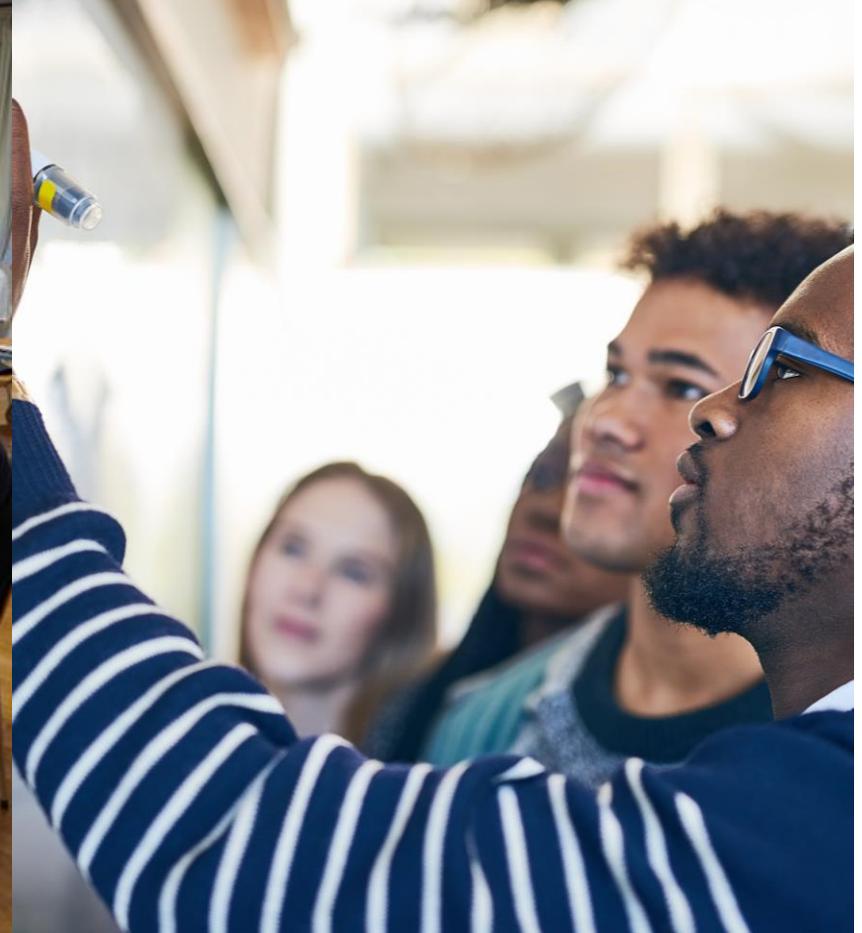
公益財団法人せたがや文化財団
国際事業部

せたがや国際交流センター Setagaya Intercultural Center
Crossing Setagaya
クロッシングせたがや



せたがや国際交流センターの運営

区内活動団体の支援 / 国際交流ボランティア活躍の機会提供



交流会MEETUP!

地域日本語教育の総合的な体制づくり
外国人のための日本語教室
せたがや日本語サポーター講座



にほんご交流会INテンプル大学

にほんご交流会IN日本大学文理学部

国際交流・異文化理解の推進
にほんご交流会

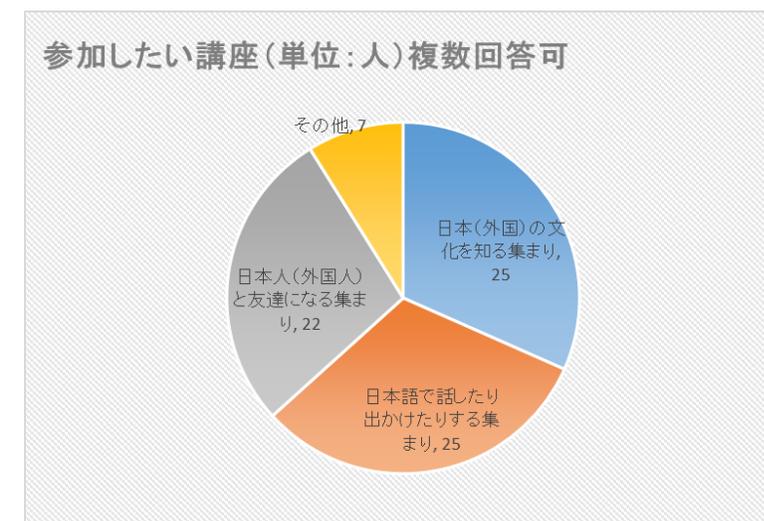
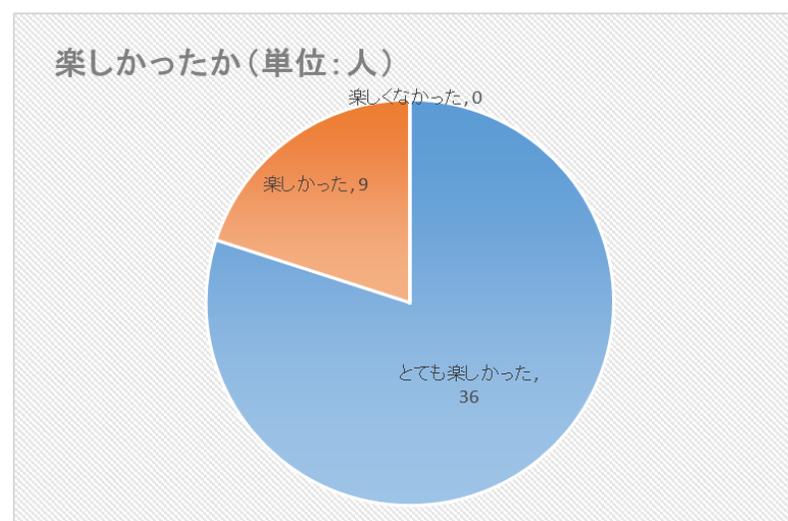
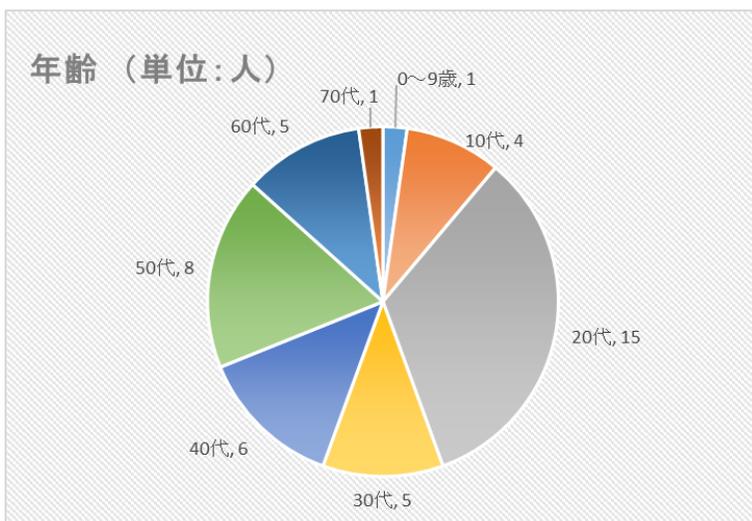


国際交流・異文化理解の推進
さんちゃ・にほんご・まちたんけん

さんちゃ・にほんご・まちたんけん アンケート結果

参加者数51人:日本語学習者31人、日本語サポーター20人

回答者数45人:日本語学習者29人、日本語サポーター16人 回収率88%



在住外国人

感想

日本人
サポーター

日本語で日本人とはなしました、三軒茶屋をあるきました。

知らなかった、ばしょに行けること。ともだちを出来ました。

みんな一緒にあるいて、たのしかったです

あるくはめんどくせ。でもこれはたのしです！

普段あまりいけないお店に行くことが出来て楽しかったです。

メンバーの方と話しながら歩くことができた(日本での生活、それぞれの国のことを教えてもらった)

外国人の方からりんごを見たことがないときいて、そういった文化等の違いの発見があり楽しかった。

町全体が楽しかったです。知らない壁画、などもびっくりしました。知らないお店がたくさんあり、とんかつ屋さんの場所もわかってうれしいです。

三茶はたまにくる程度ですが、知らなかったことばかりでたのしかったです。



姉妹都市提携55周年記念カナダ・ウィニペグの魅力



ワークショップ・講座
多文化理解講座



やさしい日本語ワークショップ

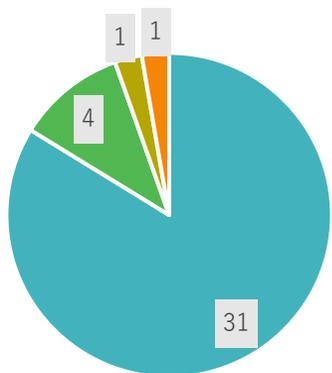


にほんごサポーター講座(実践編)

やさしい日本語ワークショップ(実践編)アンケート集計

回答 37人

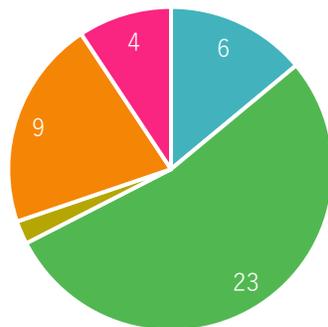
この講座に参加しての感想



■ 満足 ■ やや満足 ■ やや不満 ■ (空白)

満足 31
やや満足 4
やや不満 1
(空白) 1

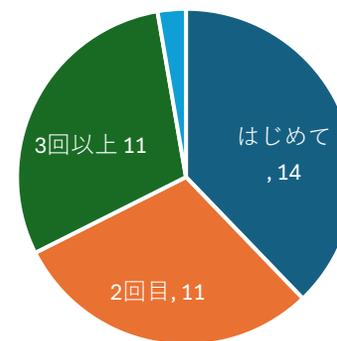
何で知りましたか？



■ ホームページ ■ 情報ガイド ■ チラシ ■ SNS ■ メルマガ

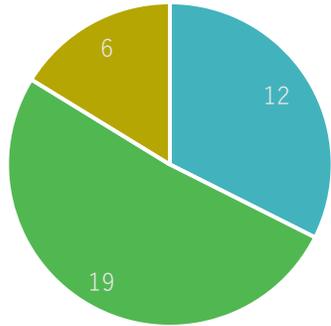
ホームページ 6
情報ガイド 23
チラシ 1
SNS 9
メルマガ 4

国際交流センターのイベントに参加するのは何回目ですか？



感想

やさしい日本語を知っていましたか



■ 知ってる、使っている ■ 知っている ■ 知らない

知ってる、 使っている	12
知っている	19
知らない	6

講話も資料もたいへん簡潔でわかりやすかった。
グループワークもたくさん話し合えていろいろ発見があった。

参加している皆さんといろいろな事を考え話せた事が
楽しかったです。

留学生のお話を伺えて、あらためて日本語の難しい部分を知ることができました。

留学生の方と共に具体的なやさしい日本語の文章作りが出来たことで、肝心な点などがよくわかりました。
先生のお話も非常に分かりやすく参考になりました。

かなり大胆にシンプルに短い表現にする必要がある。
今日参加されていた留学生の方にむしろ”難しい”日本語ができる方であるかなと思いました。

やさしい日本語と学ぶ我々にいろいろ示唆いただきました。



せたがや
せかいファミリーDAY

国際交流・異文化理解の推進

子ども支援団体による共同イベント『せたがや せかいファミリーDAY』



珈琲で知るルワンダ共和国



子ども大使～アンゴラ共和国大使館への訪問





ありがとうございました。

令和8年1月29日
生活文化政策部
文化・国際課

「これからの国際交流のあり方」の見直し検討状況について

1 主旨

区は、平成30年度に在住外国人の増加や東京2020大会の開催を契機とした区民の国際化気運の高まりとグローバル化の進展などを踏まえ、地方自治体の国際化施策の体系である「多文化共生の推進」、「国際交流の推進」、「国際協力・貢献」の3つの柱のうち、「国際交流の推進」に焦点をあて、「これからの国際交流のあり方（以下「あり方」という）」を取りまとめた。

「あり方」の策定以降、新型コロナウイルス感染症拡大による事業の休止期間があった中、昨年度（令和6年度）から本格的に対面での国際交流が再開し、コロナ禍を経た多様な手法での交流も求められている。

今般、これまでの国際交流の取り組みを評価するとともに、「あり方」策定の平成30年（2018年）からすでに7年が経過し、時代に即した事業実施手法や今日的な論点を加え、「あり方」を見直し、区の国際交流の取組方針をまとめることとする。

2 経緯

「あり方」を策定した平成30年当時、区内在住外国人は19,931人で、増加傾向にあり、その流れも踏まえ、区は、「世田谷区多様性を認め合い男女共同参画と多文化共生を推進する条例」を策定し、その行動計画として、「世田谷区多文化共生プラン（平成31年）」、「同第二次プラン（令和6年）」を策定するなど、多文化共生施策を推進している。

また、コロナ禍で一時的に減少したものの、令和7年1月時点で区内在住外国人の人口は28,202人となり、7年間で約8,000人以上増加し、区は引き続き多文化共生プランに基づく、多文化共生施策を推進している。

さらに、区は、令和2年4月、国際交流や多文化共生の情報発信、活動団体のネットワークづくりの拠点として、（公財）せたがや文化財団内に、国際交流センター（クロッシングせたがや）を開設し、コロナ禍の活動休止期間があったものの、着実に実績を重ね、同センターは令和9年度中に太子堂複合施設へ移転し、現在の活動場所がさらに広がり、国際交流の情報発信の強化が期待できる状況にある。

このような状況を背景に、あり方策定から、7年間経過していること、また、あわせて、区の国際交流を取り巻く社会環境が大きく変化していることから、このたび、「あり方」を見直すこととなった。

3 主な検討の視点・内容

（1）姉妹都市との「包括的な交流」の推進

区と各姉妹都市は区議会、各都市の議会の議決を経て、あらゆる分野で友好親善を図り、継続的に提携関係を維持することを目的とした姉妹都市提携を締結し、今日に至っている。

これまでの姉妹都市との交流の実績を踏まえ、各都市の関係者（姉妹都市コーディネーター）や、その都市を管轄する日本大使館や領事館を通じて、各都市との連携をさらに強

化する。

また、児童・生徒の交流等これまで継続している交流とあわせて、5年に1度の首長の相互訪問等の機会や様々な機会を捉え、文化・国際課を中心に交流を強化し、絆を深めていく。

- ① カナダ・ウィニペグ市（教育交流）
- ② オーストリア・ウィーン市・ドゥブリング区（教育交流）
- ③ オーストラリア・バンバリー市（教育交流・スポーツ交流・市民同士の写真展交流）

（2）「テーマ型交流」の拡充

従前の「あり方」では、継続的な提携関係を前提とした包括的な交流に限らず、教育、文化・芸術、スポーツなど各々の分野で交流を重ねる「テーマ型交流」を示し、現在、姉妹都市との包括的な交流に限らず、テーマ型交流として教育、文化、芸術、スポーツ分野での交流を進めている。

姉妹都市交流は締結にあたり、両首長による提携署名や議会の承認を得る必要があることから双方の自治体の負担も大きい。一方、テーマ型交流では双方でできるところから交流を進め、交流の根拠が必要な場合には覚書等を締結する形式を取る程度の負担で済み、双方の都市にとって負担が少ない。

今後、双方の自治体にとって負担が少なく、「できるところから」多様な交流を進めるという観点から、様々な領域で、覚書や協定などの手法を取り入れ、時代に即し、両都市の負担を考慮した持続可能な交流を進め、庁内各所管において各都市との交流を推進するとともに、文化・国際課がその交流を後方支援するしくみを構築していく。

① テーマ型交流の例

- ・ 高雄市（台湾）との文化（音楽）交流（平成31年 覚書締結）
- ・ 教育交流（「今後の区立小・中学生国際理解教育のあり方について（令和7年11月10日文教常任委員会より）」）

② 新たな交流先について

交流を行うテーマを選定する中で、距離が近く時間、費用面での利点のある、アジアの都市も含め、幅広く交流先の都市を検討する。

③ 新しい交流手法

従前のあり方以降のオンライン会議の広がりなど、DXの進展など技術革新を踏まえ、対面に拘らないオンラインを通じた交流手法など、近年の様々な交流手法の変化を反映する。

（3）地域での交流推進や国際交流センター（クロッシングせたがや）の充実

国際交流等に関する情報発信、国内で活動する国際交流団体の活動支援、交流の担い手育成（多文化共生理解講座の実施など）をとおして、国際交流の充実を図る。

（4）区内大使館等を通じた交流の拡大

世田谷区がホストタウンとなった米国や区内の大使館との交流の拡充を図る。

① 米国ホストタウン交流（米国大使館を通じた交流、スポーツ交流ほか）

【過去の交流実績】

- ・ メジャーリーグシカゴ・カブス 0B 選手と区立小学校との交流

・ニューヨーク育ちバイオリニストとの区立中学校との交流

・たまがわ花火大会への公使一行の招待 ほか

② 区内にある6つの大使館（アンゴラ共和国、カメルーン共和国、タンザニア連合共和国、モザンビーク共和国、ルワンダ共和国、マーシャル諸島共和国）と交流を行い、地域での市民交流を図る。

【過去の交流実績】

・国際メッセや区民まつりへの区内大使館の出店

・アンゴラ共和国大使館との交流（独立50周年記念事業：大使館での映画上映会、大使館職員と区職員とのスポーツ交流ほか）

4 今後のスケジュール（予定）

令和8年1月29日 多文化共生推進部会（「あり方」検討状況報告）

2月12日 男女共同参画・多文化共生推進審議会（「あり方」検討状況報告）

5月 国際化推進協議会（「あり方」見直し案報告）

国際化推進委員会（「あり方」見直し案報告）

6月 多文化共生推進部会（「あり方」見直し案報告）

9月 区民生活常任委員会（「あり方」見直し案報告）

この調査は世田谷区役所が行っています

世田谷区における外国人区民の意識・実態調査

この調査用紙は、質問の回答を書いて、令和8年(2026年)〇月〇日(〇)までに、一緒に入れてある小さい封筒に入れて、切手を貼らずに郵便ポストにいれてください。ご協力をお願いします。下の二次元コードから、オンラインでも回答ができます。

令和8年(2026年)6月

調査目的

世田谷区は、国籍・地域を問わず誰もが暮らしやすい多文化共生社会を目指しています。

この調査は、区内に住んでいる外国人区民の皆さんに生活の様子や世田谷区に対する意見や要望を聞き、その結果を多文化共生社会を目指す施策のために活用します。

調査項目

- あなた(回答者)について (F1~8)
- ことばについて (Q1~4)
- 日常生活について (Q5~23)
- 行政サービスについて (Q24~30)
- 交流活動について (Q31~35)
- その他 (Q36)

※ 分からないことがあったら、世田谷区生活文化政策部文化・国際課に電話してください。
電話番号 03-6304-3439 (午前8時30分~午後5時) ※土、日、祝日を除く

ご記入にあたってのお願い

- 封筒に名前が書かれてある方が答えてください。
- 黒のボールペンまたは鉛筆で書いてください。
- 最初から1問ずつ、最後まで答えてください。
- 答えは、あてはまる番号に○をつけてください。
- (1つに○)(あてはまるもの全てに○)など、質問によって○をつける数が異なりますので、その範囲内で答えてください。
- それぞれの質問をよく読んでから答えてください。
- 記入日時点での情報で答えてください。

この調査は日本語のほか、やさしい日本語、英語(English)、中国語簡体字・繁体字(中文簡体字・繁体字)、韓国語(한국어)、ベトナム語(Tiếng Việt)、フィリピン語(Filipino)、ネパール語(नेपाली)、フランス語(français)、インドネシア語(Indonesian)の10言語で回答いただけます。

右の二次元コードからオンライン回答ページにアクセスしてください。



外国人住民の皆さん、調査にご協力ください。

皆さんの声が、外国人住民にとっても暮らしやすいまちづくりに役立ちます。

あなた(回答者)について

F 1. あなたの性別(性自認)はどれですか(1つに○)。

- 1. 男性 2. 女性 3. その他()

F 2. あなたの年齢はどれですか(1つに○)。

- 1. 15~19歳 2. 20~29歳 3. 30~39歳 4. 40~49歳
5. 50~59歳 6. 60~69歳 7. 70~79歳 8. 80歳以上

F 3. あなたの国籍・地域はどれですか。

- 1. 中国 2. 韓国 3. アメリカ 4. ベトナム
5. 台湾 6. フィリピン 7. ネパール 8. イギリス
9. フランス 10. インドネシア 11. その他()

F 4. あなたの職業はどれですか。2つ以上あてはまる場合は、主な職業を選んでください(1つに○)。

- 1. 自営業者・経営者 2. 会社などの役員 3. 正社員
4. 契約社員・派遣社員など(働く期間が決まっている人) 5. パート・アルバイト
6. 専業主婦・主夫 7. 学生 8. 無職 9. その他()

F 5. あなたの日本での在留資格はどれですか(1つに○)。

- 1. 永住者 2. 技術・人文知識・国際業務 3. 留学
4. 家族滞在 5. 日本人の配偶者等 6. 特別永住者
7. 特定活動 8. 特定技能 9. 高度専門職
10. 定住者 11. その他()

F 6. あなたは日本にどのくらいの期間住んでいますか。来日(転入・転出)を繰り返している場合は、日本に住んでいる期間の合計を教えてください(1つに○)。

- 1. 1年未満 2. 1年以上~3年未満 3. 3年以上~5年未満
4. 5年以上~10年未満 5. 10年以上~20年未満 6. 20年以上
7. 生まれたときからずっと

(C) 今後、日本語を勉強したいですか。

1. したい
2. したくない

(D) 日本語の勉強をしていないのはなぜですか（主なもの3つ以内に○）。

1. 教室や講座にかかる費用が高い
2. 近くで受けられる教室や講座がない
3. 勉強する時間がない
4. 勉強できる場所を知らない
5. 勉強する必要がない
6. その他（ ）

Q4. あなたは、どのような日本語教室であれば参加してみたいと思いますか（あてはまるもの全てに○）。

1. 夜間に利用できる
 2. 土曜・日曜に利用できる
 3. 子どもを預けるサービスがある
 4. オンラインで利用できる
 5. 自分の家や職場に近い
 6. 仕事に役立つ
 7. 初心者向け
 8. 中級・上級者向け
 9. 少人数・個別指導を行っている
 10. 日本の文化を学べる
11. 生活に関する相談ができたり、支援が受けられる
 12. その他（ ）

にちじょうせいかつ
日常生活について

Q5. あなたにとって世田谷区は住みやすいところですか（あてはまるもの1つに○）。

1. 住みやすい 2. やや住みやすい 3. どちらでもない
4. やや住みにくい 5. 住みにくい

Q6. あなたは、今後も世田谷区に住み続けたいですか（あてはまるもの1つに○）。

1. 住みたい 2. どちらかというに住みたい 3. どちらでもない
4. どちらかというに住みたくない 5. 住みたくない

Q7. 日常生活で困っていることはありますか（主なもの3つ以内に○）。

1. ことばが通じない 2. 日本人との交流が少ない
3. **ごみ出しのルールが分からない** 4. ものの値段が高い 5. 食事が合わない
6. 趣味や遊びを楽しむ時間や場所がない 7. 文化・生活習慣が違う
8. 生活するうえで必要な情報が得られない 9. 困ったときに相談できる人がいない
10. 住む家が見つからない 11. 仕事が見つからない
12. 病院の医療サービスに関する問題（例えば）
13. 宗教に関する問題（例えば）
14. 住んでいる地域の住民との関係（例えば）
15. その他（
16. 特にない

Q8. あなたは住むところを探すときに困ったことはありますか（主なもの3つ以内に○）。

1. 外国人住民であることを理由に住むことを断られた
2. 保証人が見つからなかった
3. 相談できる窓口がなかった
4. 電気・ガス・水道などの手続きがわからなかった
5. その他（
6. 特にない

Q9. あなたは病院を利用する際に困ったことはありますか（主なもの3つ以内に○）。

1. 外国人住民であることを理由に診察を断られた
2. どの病院に行けばいいのかわからなかった
3. 診察時間など、病院の仕組みがわからなかった
4. ことばが通じず医者や看護師などとコミュニケーションがとれなかった
5. 病院で出される薬の使い方がわからなかった
6. 診断結果や治療方法がわからなかった
7. その他（ ）
8. 特にない

Q10. あなたは出産や子育てで困ったことはありますか（主なもの3つ以内に○）。

1. 母子健康手帳の内容がわからなかった
2. 通院・入院中にことばが通じなかった
3. 相談できる人がいなかった
4. 受けられるサービスの情報（予防接種や健診など）がわからなかった
5. これまで出産や子育てをしたことがない
6. その他（ ）
7. 特にない

Q11. あなたが保育園、幼稚園、小学校、中学校に子どもを通わせる（通わせた）うえで、困ったことはありますか（主なもの3つ以内に○）。

1. 子どもを保育園や幼稚園に通わせたいが入れなかった
2. 保育園であずかってもらえる時間が短かった
3. 入園、入学のための手続きの情報が得られなかった
4. ことばが通じず保育士や先生などとコミュニケーションがとれなかった
5. ルールや行事、授業の内容などがわからなかった
6. 子どもが外国人住民であることを理由に仲間はずれにされた
7. 文化の違いや宗教などの理由で給食が食べられなかった
8. これまで子どもを保育園、幼稚園、小学校、中学校に通わせたことがない
9. その他（ ）
10. 特にない

Q 1 2. あなたが働^{はたら}くうえで困^{こま}ったことはありますか (主なもの3つ以内に○)。

1. 外国人住^{がいこくじんじゅうみん}民であることを理由^{りゆう}に働^{はたら}くことを断^{ことわ}られた
2. 仕事^{しごと}を探^{さが}す方法^{ほうほう}がわからなかった
3. 募集^{ぼしゅう}や採用^{さいよう}が少^{すく}なかった
4. 正社員^{せいしゃいん}など、安定^{あんてい}した立場^{たちば}で働^{はたら}けなかった
5. 日本人^{にほんじん}と比べ^{くら}、給^{きゅうりよう}料^{りよう}や働^{はたら}く時間^{じかん}に差^さがあった
6. 働^{はたら}く時間^{じかん}が長^{なが}い
7. 会社^{かいしゃ}の社会保^{しゃかいほけん}険^{けん} (健康保^{けんこうほけん}険^{けん}・年^{ねん}金^{きん})・労働保^{ろうどうほけん}険^{けん}に加入^{かにゆう}できなかった
8. ことばが通^{つう}じず職^{しょくば}場^ばでコ^こミ^みュ^ゆニ^にケ^けー^しョ^{ょん}ンがとれなかった
9. 会社^{かいしゃ}で偏^{へん}見^{けん}・差^さ別^{べつ}的^{てき}言^{ごん}動^{どう}を受^うけた
10. 職^{しょくば}場^ばのル^るー^るル^るや制^{せい}度^どなどがわからなかった
11. 職^{しょくば}場^ば内^{ない}に相^{そう}談^{だん}できる人^{ひと}がいなかった
12. 働^{はたら}いたことがない
13. その他 ()
14. 特^{とく}にない

Q 1 3. あなたは、困^{こま}っていることを誰^{だれ}・どこに相^{そう}談^{だん}しますか (主なもの3つ以内に○)。

1. 家^か族^{ぞく}、親^{しん}戚^{せき}
2. 日本^{にほん}人^{じん}の友^{ゆう}人^{じん}、知^ち人^{じん}
3. 外国^{がいこく}人^{じん}の友^{ゆう}人^{じん}、知^ち人^{じん}
4. 近^{きん}所^{じょ}の人^{ひと}
5. 行^{ぎょう}政^{せい}機^き関^{かん} (世^せ田^た谷^や区^く役^{やく}所^{じょ}など)
6. 学^{がく}校^{こう}、職^{しょく}場^ば
7. 外国^{がいこく}人^{じん}向^むけのボ^ぼラ^{らん}テ^いア^あ組^ぐ織^し
8. その他 ()
9. 相^{そう}談^{だん}相^あ手^てはいない

Q 1 4. あなたは日^{にち}常^{じょう}生^{せい}活^{かつ}で日本^{にほん}人^{じん}住^{じゅう}民^{みん}との付^つき合^あいがありますか (あてはまるもの全^{すべ}てに○)。

1. 一^{いっ}緒^{しょ}に働^{はたら}いている
2. 学^{がく}校^{こう}で一^{いっ}緒^{しょ}に勉^{べん}強^{きやう}している
3. 友^{ゆう}人^{じん}として付^つき合^あっている
4. 自^じ分^{ぶん}または親^{しん}戚^{せき}が、日本^{にほん}人^{じん}と結^{けつ}婚^{こん}して日本^{にほん}に住^すんでいる
5. 国^{こく}際^{さい}交^{こう}流^{りゅう}のグ^ぐル^るー^るプで一^{いっ}緒^{しょ}に活^{かつ}動^{どう}している
6. その他、地^ち域^{いき}のグ^ぐル^るー^るプなど一^{いっ}緒^{しょ}に活^{かつ}動^{どう}している
7. 日本^{にほん}人^{じん}とあいさつ程^{てい}度^どの付^つき合^あいはある
8. その他 ()
9. 日本^{にほん}人^{じん}の知^しり合^あいはないし、付^つき合^あいもない

Q17. あなたは次の事柄 a) ~ j) についての情報を、これまでどのように入手してきましたか。
 それぞれについて、1~12のうちあてはまる番号(主なもの3つ以内)に○をつけてください。

1. テレビ、ラジオ
2. 新聞、雑誌
3. インターネット
4. SNS等 → 1つでも選んだ方は(A)の質問にも答えてください。
5. 家族、親戚
6. 日本人の友人、知人
7. 外国人の友人、知人
8. 行政機関(窓口、広報誌)
9. 学校、職場
10. 外国人向けのボランティア組織
11. 入手方法がわからず困っている
12. その他

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	事柄
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	a) 住宅
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	b) 買い物
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	c) 趣味・遊び
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	d) 仕事
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	e) 保健・医療
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	f) 日本での生活習慣
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	g) 災害・防災情報
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	h) コミュニティ・グループの紹介
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	i) 地域でのイベントやおまつり
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	j) 行政サービス・手続き

(A) あなたが普段利用しているSNS等はどれですか(あてはまるもの全てに○)。

1. Facebook
2. X (旧 Twitter)
3. LINE
4. Instagram
5. WeChat
6. Kakao Talk
7. YouTube
8. その他 ()

Q 1 8. 行政からほしい情報はどのようなものですか（主なもの3つ以内に○をつけ、具体的な内容がかっこの中に書いてください）。

例) 7. 保健・医療（ 外国語のできる病院の場所 ）

1. 住宅（ ）
2. 買い物（ ）
3. 趣味・遊び（ ）
4. 仕事（ ）
5. 保健・医療（ ）
6. 日本での生活習慣（ ）
7. 災害・防災情報（ ）
8. コミュニティ・グループの紹介（ ）
9. 地域でのイベントやおまつり（ ）
10. 行政サービス・手続き（ ）
11. その他（ ）
12. 特にない

Q 1 9. 行政からの情報を、どのような方法で発信してほしいですか（主なもの3つ以内に○）。

1. ホームページ
2. Facebook
3. X（旧 Twitter）
4. その他の SNS（ ）
5. メールマガジン
6. チラシ・ポスター
7. 区のおしらせ せたがや（広報誌）
8. その他（ ）

Q 2 0. あなたは地震などの災害が発生したときに自分が避難できる場所を知っていますか（1つに○）。

1. 知っている
2. 知らない
3. 聞いたことがあるが場所は知らない

Q 2 1. あなたは地震などの災害に備えてどのような対策をとっていますか（主なもの3つ以内に○）。

1. 家族との連絡方法を決めている
2. 食べるもの、飲み物などを準備している
3. 消火器や水バケツなどを準備している
4. 避難するときに必要なもの（懐中電灯、薬など）を準備している
5. 家具などを固定して倒れないようにしている
6. 防災訓練に参加している
7. その他（ ）
8. 特にない

Q 2 2. あなたは地震などの災害に備えて世田谷区にどのような対策を望みますか（主なもの3つ以内に○）。

1. 避難場所を多言語で案内する
2. 多言語による防災パンフレットを配る
3. 外国人住民を支援する災害ボランティアを育てる
4. 日本人住民と一緒に外国人住民も参加できる防災訓練を行う
5. 地域内の外国人住民・日本人住民が連絡・協力しあえる体制づくりを進める
6. SNSやインターネットを通じた情報発信を行う
7. 災害が起こったときに多言語による放送や誘導を行う
8. 災害が起こったときに多言語で対応できる相談窓口をつくる
9. その他（ ）
10. 特にない

Q 2 3. 世田谷区では、外国人住民が安心して地域で生活するために、教育、住宅、就労など、生活全般にわたっての支援を行っています。あなたは外国人住民に対する生活支援が充実していると思いますか（1つに○）。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

Q26. あなたは世田谷区が行っている以下の出版物や取組みを知っていますか。また、利用したことがありますか。a)～i) までの出版物や取組みについて、1～3のうちあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。(それぞれ1つに○)。

1. 利用している・したことがある
 2. 知っているが利用したことはない
 3. 知らない

1	2	3	出版物や取組み
---	---	---	---------

<出版物>

1	2	3	a) 外国語版生活便利帳「Life in Setagaya」
1	2	3	b) 資源とごみの出し方・分け方
1	2	3	c) 災害時区民行動マニュアル (マップ版)

<取組み>

1	2	3	d) 日常生活や行政に関することを相談できる外国人相談窓口
1	2	3	e) 世田谷区ホームページの外国人向けページ
1	2	3	f) 外国人向けの日本語教室
1	2	3	g) タブレット端末を活用した通訳サービス
1	2	3	h) 帰国・外国人児童・生徒のために教育や相談指導を行う教育相談室
1	2	3	i) 世田谷区パートナーシップの宣誓 (同性パートナーシップ宣誓)

Q27. あなたはどのような外国人相談窓口であれば、利用したいと思いますか (主なもの3つ以内に○)。

- 多言語に対応している
- 相談できる内容が充実している
- 利用しやすい場所にある
- 休日や祝日に利用できる
- 窓口があいている時間が長い
- メールやSNSで相談できる
- その他 ()

Q28. あなたは、外国人住民に対する支援や情報発信の拠点である、せたがや国際交流センター（クロッシングせたがや）を知っていますか（1つに○）。

ここでは、日本語教室や外国人住民と日本人住民の交流イベントの実施、暮らしに役立つ情報提供、生活における困りごとの相談窓口の案内や地域活動団体の紹介などを行っています。

1. 利用したことがある
2. 知っているが利用したことはない
3. 知らなかったが利用してみたい
4. 知らない

(A) の質問にも答えてください。

(A) せたがや国際交流センター（クロッシングせたがや）を利用したことがない理由は何ですか。（あてはまるもの全てに○）。

1. 関心がない
2. 時間がない
3. インターネットで必要な情報はとれる
4. 行きにくい場所にある
5. その他（ ）

Q29. あなたは、現在せたがや国際交流センター（クロッシングせたがや）で行われている取組みの中で、どの取組みがより充実していたら、もっと利用したいと思いますか（あてはまるもの全てに○）。

1. 日本語教室
2. 日本人住民との交流イベント
3. 外国人住民との交流イベント
4. 区内まち歩きツアー
5. 多文化理解への取組み
6. 困りごとの相談
7. 子ども向け企画（絵本の読み聞かせなど）
8. 地域活動団体の紹介
9. その他（ ）

Q30. 法律、税金、年金・保険、医療、教育、住まいや契約のトラブルなど、専門的なことについて相談できる場（通訳付き）があった場合、どのような内容について相談したいと思いますか（あてはまるもの全てに○）。

1. 年金や社会保険に関する事
2. お金に関する事
3. 医療に関する事
4. 子育てや教育に関する事
5. 住まいに関する事
6. 契約に関する事
7. 仕事に関する事
8. 在留資格に関する事
9. 結婚・離婚に関する事
10. 家庭の問題に関する事
11. DVに関する事
12. その他（ ）

ごうりゆうかつどう
交流活動について

Q3 1. あなたは次のような交流や活動 a) ~ e) をしたことがありますか。1か2のどちらかを選んで○をつけてください。また、今後、次のような交流や活動をしていきたいと思いませんか。3~7のうち、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- 1. したことがある
- 2. したことがない
- 3. 積極的にしたい
- 4. 機会があればしたい
- 5. どちらでもない
- 6. あまりしたいと思わない
- 7. 絶対したくない

①	2	③	4	5	6	7	ごうりゆうかつどう 交流や活動
1	2	3	4	5	6	7	a) ちいき 地域のおまつり・イベント
1	2	3	4	5	6	7	b) ぼうさいくんれん 防災訓練
1	2	3	4	5	6	7	c) ぼうはんかつどう 防犯活動
1	2	3	4	5	6	7	d) しゅみ きーくる すぽーつかつどう 趣味・サークル・スポーツ活動
1	2	3	4	5	6	7	e) ぼらんていあかつどう ボランティア活動

(A) その他、している(してみたい)交流や活動があれば以下に書いてください。

しているごうりゆうかつどう 交流や活動	してみたいごうりゆうかつどう 交流や活動

Q3 2. あなたは、同じ国出身の住民への支援活動をしたいと思いませんか(1つに○)。

- 1. 積極的にしたい
- 2. 機会があればしたい
- 3. どちらでもない
- 4. あまりしたいと思わない
- 5. 絶対したくない

(A) の質問にも答えてください。

(A) どのような支援活動しえんかつどうをしたいですか。(あてはまるもの全てすべに○)。

1. イベントでの通訳つうやく
2. 専門家相談せんもんかそうだん (弁護士べんごし・税理士ぜいりし・行政書士ぎょうせいしよし・社会保険労務士しゃかいほけんろうむし) での通訳つうやく
3. 母語ぼごや日本語にほんごを教える活動おし かつどう
4. 学校の授業がっこう じゅぎょうへの協力きょうりょく、保護者面談等ほごしやめんだんとうでの通訳つうやく
5. 外国人住民がいこくじんじゅうみんへの相談支援そうだんしえん
6. 外国人住民がいこくじんじゅうみんのためのお知らせしや資料等しりょうとうの翻訳ほんやく
7. その他た ()

Q33. あなた(あなたの世帯せたい)は自治会じちかい・町会ちょうかいに入っていますか(1つに○)。

1. 入っているはい
2. 入っていないはい
3. 自治会・町会を知らないじちかい ちょうかい し
4. 入りたいが入り方が分からないはい かい かわ
5. その他た ()

Q34. あなたは仕事しごとや学校がっこう以外いがいで何らかの団体だんたい(自治会じちかい・町会ちょうかいを除くのぞ、コミュニティこみゆにていやグループぐるーぷなど)に入っていますか(主なもの3つ以内に○)。

1. 日本人住民にほんじんじゅうみんとの交流団体こうりゅうだんたい
2. 同国人団体どうこくじんだんたい
3. 宗教団体しゅうきょうだんたい
4. スポーツ団体すぽーつだんたい
5. ボランティア団体ぼらんてい あだんたい
6. 娯楽・趣味の団体ごらく しゅみ だんたい
7. 特に団体に参加していないとく だんたい さんか
8. その他た ()

→7以外を1つでも選んだ方は(A)の質問にも答えてください。

(A) あなたが参加さんかしているコミュニティこみゆにていやグループぐるーぷについて教えてください。

<コミュニティ・グループの名前>

<活動内容>

Q35. 地域での活動を行うとき、どのようなサポートが必要だと思えますか（主なもの3つ以内に○）。

1. 地域活動の情報を提供してほしい
2. 多言語で資料をつくってほしい
3. 通訳がほしい
4. 積極的に声をかけてほしい
5. 文化や生活習慣の違いをわかってほしい
6. その他（ ）
7. 特にサポートの希望はない

そ の 他

Q36. 世田谷区をもっと住みやすいまちにするために、世田谷区に取り組んでほしいこと・やってもらいたいことなどを自由に書いてください。

ご協力ありがとうございました。

令和 7 年度「せたがや会議～みんなで考える多文化共生のまち～」

(外国人・日本人区民による意見交換会)

実施報告

1. 目的

国籍を問わず誰もが暮らしやすい多文化共生社会の構築に向けて、区民同士で日頃から感じていることを意見交換し合うことで、課題や情報を共有し、問題についての認識を深めるとともに、参加者同士の交流機会創出を目的とする。

2. 開催日時

令和 7 年 1 2 月 6 日 (土) 午後 2 時～午後 4 時 3 0 分

3. 開催場所

三茶しゃれなあどホール (オリオン) (世田谷区三軒茶屋 1 - 4 1 - 1 0)

4. テーマ

「いろいろな人が出会い、知り合い、つながり合うためには？」

様々な言語・文化を持つ人々が地域の行事や活動により一層関わっていくにはどうしたらよいかをグループで考え、意見交換を行う。

5. 参加者数

計 2 2 名 ※公募による

(1) 外国人区民 1 0 名

(2) 日本人区民 1 2 名

6. 全体コーディネーター及び協力者

(1) 講師：吉田 千春氏 (中央大学法学部助教／イクリスせたがや代表)

：柳 定賢 ジャスミン氏 (東京大学グローバル教育センター講師)

(2) グループファシリテーター：大学生等による学生ボランティア 1 0 名

(上智大学院、上智大学、中央大学、日本大学)

(3) 通訳：中国語 1 名 英語 3 名

※通訳希望のあった参加者のいるグループのみ配置

7. 「せたがや会議」の流れ

時間	内容
14:00～	開会、講師の紹介など
14:15～	アイスブレイク (ビンゴ、自己紹介) 意見交換 (いろいろな人が出会い、知り合い、つながり合うためには?)
16:05～	意見交換の共有、まとめ
16:30	閉会

当日の活動の様子



アイスブレイク



各グループでの意見交換



各グループでの意見交換



全体の様子

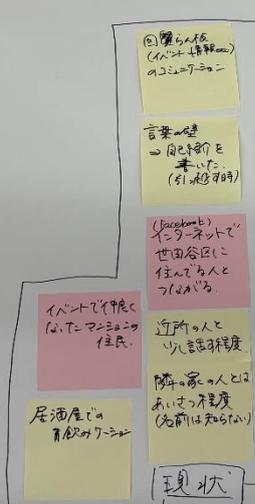
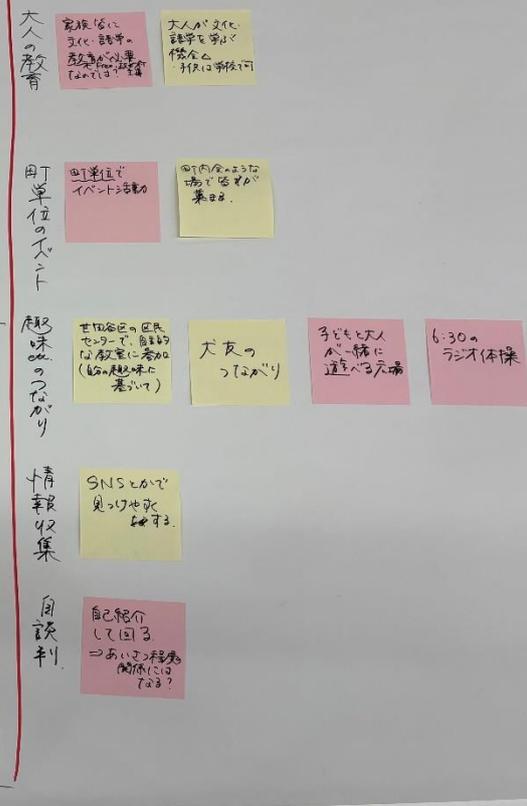
近所が 実住しず

近所
の住み
やすい
言葉
の壁

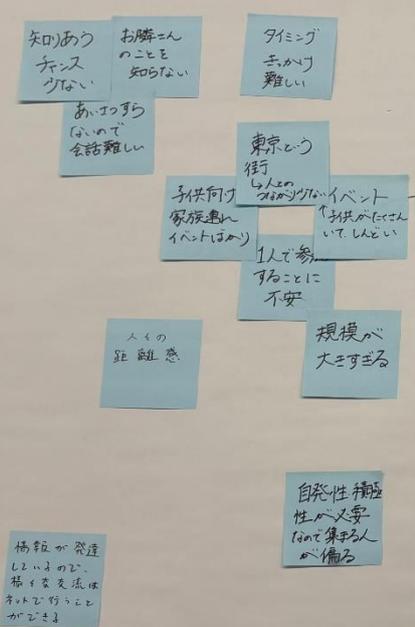
- 近所の人に馴染みやすい
- 直感的なコミュニケーション
代わりにSNS
- 近所の人と交流しにくい
- 近所の人と交流しにくい
- 近所の人と交流しにくい

言葉の壁
親しく話さないと
話さないと

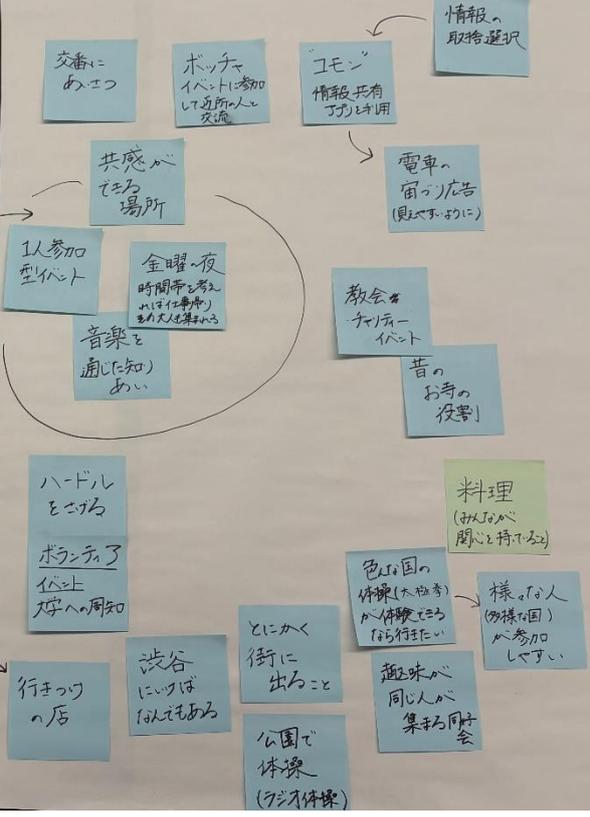
どうしたらいいか

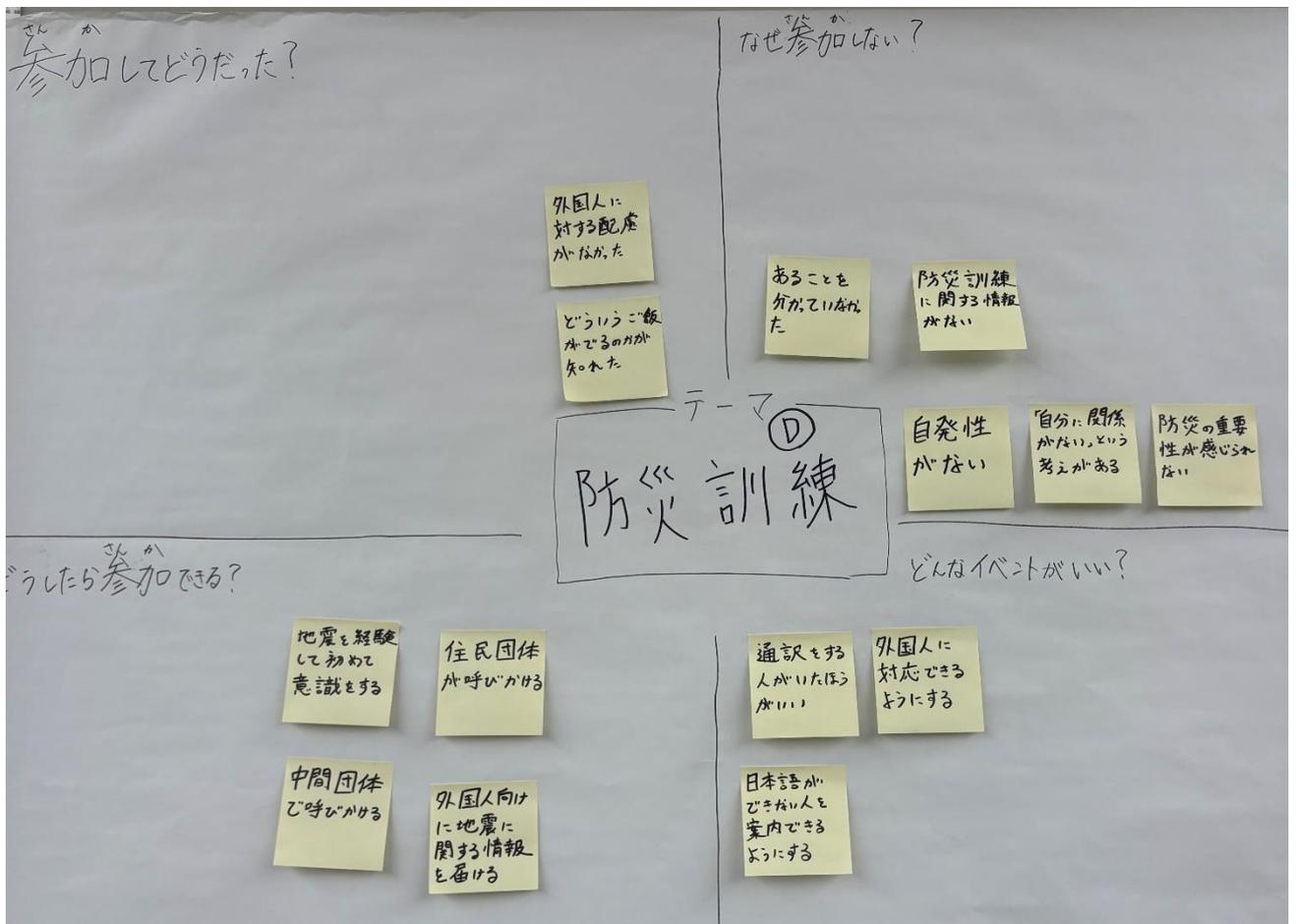
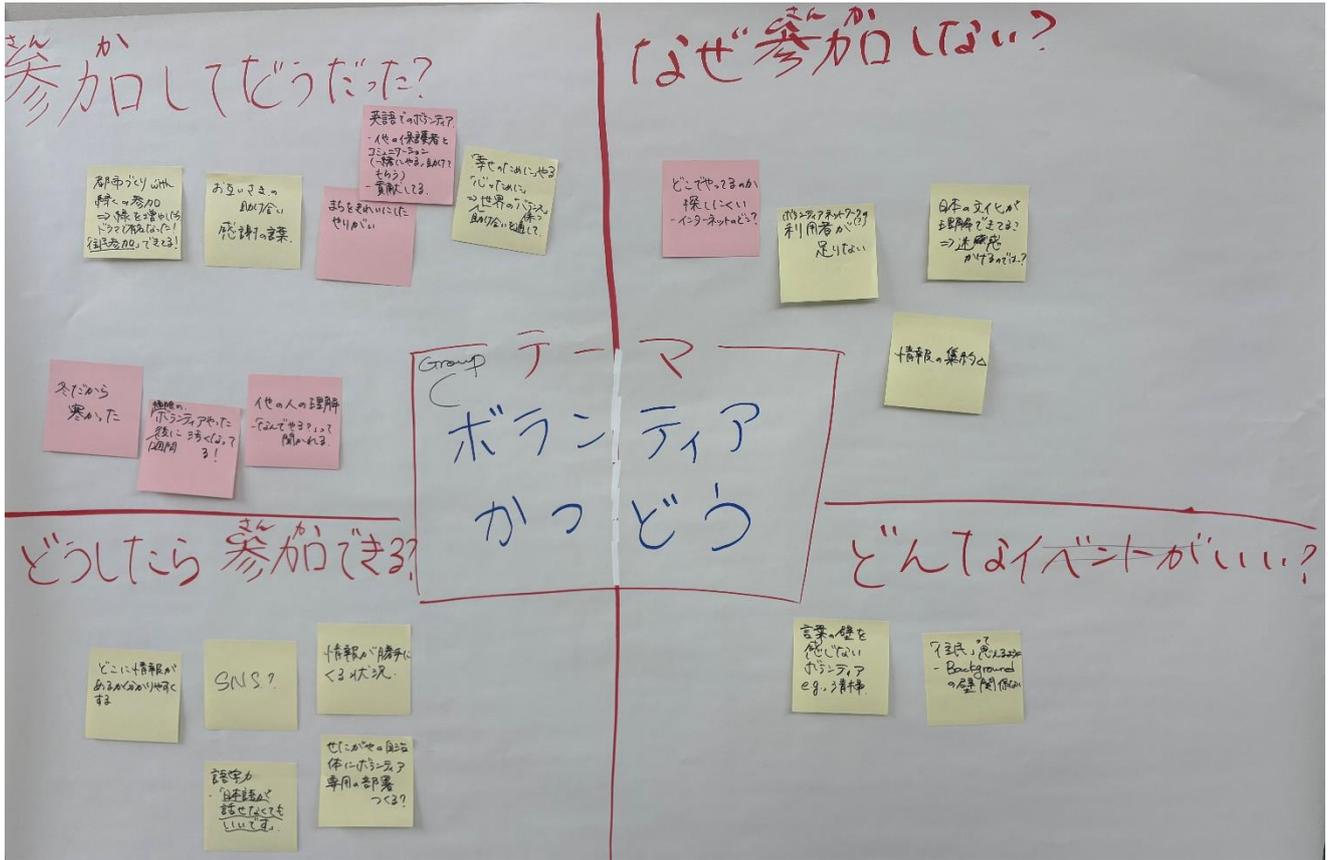


おすか 難し 実住しず

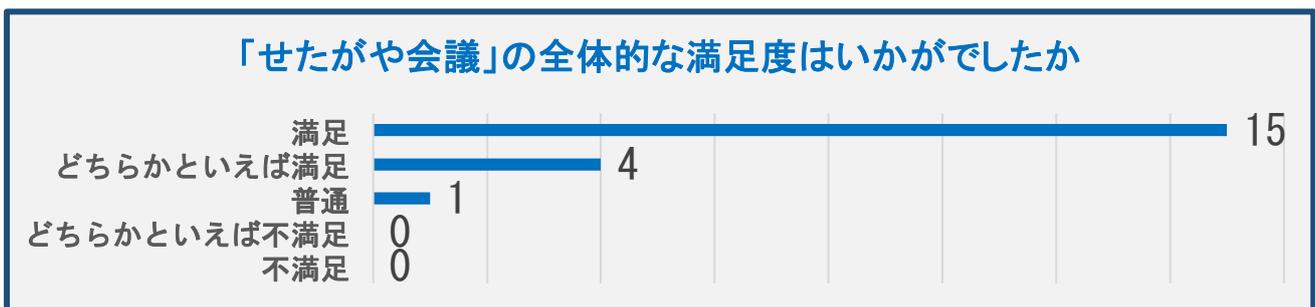
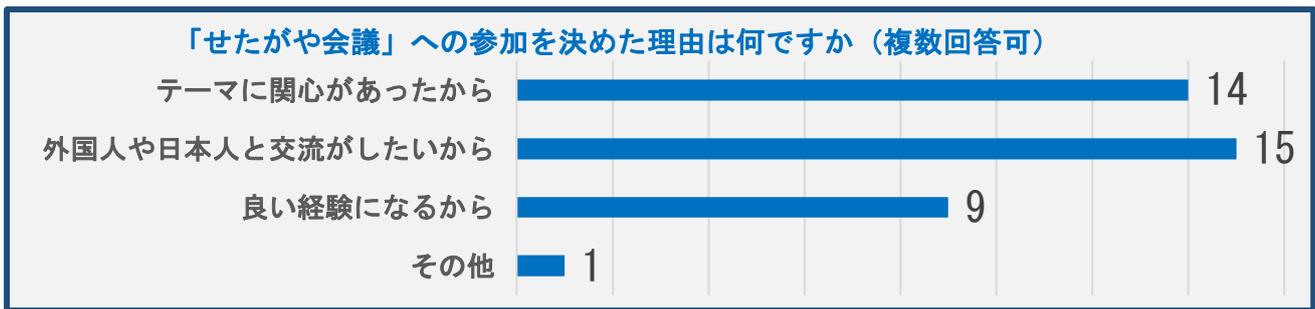


どうしたら良いか





9. 参加者アンケート集計（回答者：20名／22名）



【その他、ご意見・感想等（抜粋）】

- ・外国の方は話をすることに勇気が必要だとわかった。日本人のマナーについても、日本語の奥にある意味についても本当にわからないという事実もわかって、バリアを持たれているのではないかと思っている。
- ・このイベントを開催するために準備が大変だったと思うが、とても良い経験になった。ありがとうございました。
- ・以前クロッシングせたがやスタッフにも伺ったことがあるが、防災に関して日本人向け防災訓練を外国語化すればいいのではなく、ニーズが全く違うので外国人向けの防災講座や救命講座はこれから必要になってくると思う。
- ・大きなイベントでなく定期的につながりを持てる小さな集まりを企画するのもよいかと。
- ・とても良かった。聞いたり話したり気付いたりして面白かった。
- ・有意義だったので、今後も頑張って続けてほしい。
- ・世田谷区の外国人の人と交流する機会はほとんどないので良い企画だと思う。

知るつながる楽しむ

第9回

第7回

せたがや国際メッセ & ホストタウンコンサート

どちらも

入場無料

2026.2.28(土) 11:00~16:00

※ホストタウンコンサートは15:00~(予定)

せたがやイーグレットホール (世田谷区民会館)

体験コーナー

ワークショップ等

English Table

留学生と英語で交流



ステージ

民族舞踊等



ブース出展
工芸品・雑貨の販売等

15:00~



ホストタウンコンサート

アメリカ発祥の音楽“ゴスペル”のコンサートを開催!
ゴスペルシンガーたちによるパワフルな歌声をお楽しみください。

出演

GOSMAC SINGERS

GOSPELコーラスグループ「VOJA」(The Voices of Japan)のOGで、日本各地や世界でも活躍するプロシンガー3名によって本コンサートのために特別に編成されたスペシャルユニット。

メンバー

のはらヒロコ・山根圭織・西川美江
Piano:キム・ソニール
クワイヤー:GOSMACクワイヤー



主催

世田谷区

(公財) せたがや文化財団 (せたがや国際交流センター)

お問い合わせ先

世田谷区 生活文化政策部 文化・国際課

TEL: 03-6304-3439

FAX: 03-6304-3710

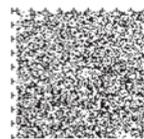
最新の情報は区HPを見てください。



29612

検索

(外国語版チラシ(English, 中文)もこちらから)



ブース出展団体

アンゴラ共和国大使館
トーゴ共和国大使館
モザンビーク共和国大使館
ルワンダ共和国大使館

特定非営利活動法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン
特定非営利活動法人 日韓親善交流協会 暖流
日本東ティモール協会
昭和女子大学 CIE 学生プロジェクト
東京出入国在留管理局在留支援部門

独立行政法人 国際協力機構(JICA)東京センター
日本ユーラシア協会
一般社団法人 国歌の輪
せたがや未来の平和館(世田谷区立平和資料館)
せたがや国際交流センター

ステージプログラム

※時間は前後する場合があります。

- 日本ユーラシア協会
ユーラシアの歌 11:15 ~ 11:25
- Hortensia
Tres Delicias de Galiza 11:30 ~ 11:40
- 上方舞友の会
わのころ【上方舞】
雪の夜の静けさと女心を舞う『黒髪』... 11:45 ~ 11:55
- はいさい! ようがエイサー
エイサー演舞(太鼓演奏) 12:00 ~ 12:10
- スラブ民族舞踊スラヴァーニェ
ウクライナ、ロシア、コーカサス地域の
華やかな民族舞踊のパフォーマンス ... 12:15 ~ 12:25
- アンゴラ共和国大使館
ダンスパフォーマンス 12:30 ~ 12:40
- ようがチアリーディングクラブチェリーズ
チアリーディング 12:45 ~ 12:55
- 世田谷伝統芸能に親しむ会 日本舞踊東路流
長唄「越後獅子」..... 13:00 ~ 13:10
- 東深沢鼓桜
和太鼓演奏「桜の舞」「いぶき」 13:15 ~ 13:25
- ホストタウンコンサート
※事前申し込みはありません。直接会場へお越しください。
ゴスペル 15:00 ~ 16:00

※ホストタウンとは、スポーツや文化のイベントなどを通して、様々な文化や個性への理解をめざす自治体のことで、世田谷区はアメリカ合衆国のホストタウンです。アメリカ発祥の音楽“ゴスペル”のコンサートをお楽しみください。

せたがやイーグレットホール(世田谷区民会館)

東京都世田谷区世田谷 4-21-27

- 電車 東急世田谷線「松陰神社前駅」または「世田谷駅」徒歩 各5分
- バス 「世田谷区民会館」下車すぐ、「世田谷区役所入口」下車徒歩6分、「世田谷駅前」下車徒歩7分

※せたがやイーグレットホール(世田谷区民会館)専用の駐輪場・駐車場はございませんので公共交通機関の利用をお願いします。

- ・プログラムは予告なく変更、中止の可能性があります。最新情報は区ホームページ等でご確認をお願いいたします。
- ・当日の会場の様子は、区の広報媒体やメディア等に写真掲載される場合があります。

体験コーナー

※事前申し込みはありません。直接会場へお越しください。

- ★ 日本舞踊で遊ぼう(11:20 ~ 12:20)
講師: 世田谷伝統芸能に親しむ会 日本舞踊東路流
- ★ 留学生と一緒に道具を作って、やってみよう!
韓国・ベトナム・日本の遊び!(11:30 ~ 12:30)
講師: 昭和女子大学 CIE 学生プロジェクト
- ★ 多言語絵本の読み聞かせ(13:00 ~ 14:00)
講師: イクリスせたがや
- ★ 天地に充滿するエネルギーを感じながら、日本古来の美と和の心を舞います。(13:10 ~ 14:10)
講師: 上方舞友の会
※「すり足」を練習します。「足袋」または「くつした」をはいてください。
- ★ 中国の文化に触れてみませんか?(14:30 ~ 15:30)
講師: 異文化研究・交流会(日本大学文理学部公認サークル)
参加費100~200円程度

English Table

様々な国から日本に学びに来ている留学生と英語で交流ができます。気軽な雰囲気の中で、留学生と国際交流してみませんか?(先着順、各回最大16名程度)

- 1回目 11:30 ~ 12:00
- 2回目 12:30 ~ 13:00
- 3回目 13:30 ~ 14:00
- 4回目 14:30 ~ 15:00

展示コーナー

- 上方舞友の会
- 日本大学文理学部日暮ゼミ
- 国士舘大学 上村ゼミ
- 世田谷ポータルランド都市文化交流協会
- その他、世田谷区の姉妹都市、多文化共生プラン、ホストタウン紹介の展示など



令和7年11月10日
教育委員会事務局

今後の帰国・外国人児童・生徒に対する支援の拡充について

1 主旨

区内の外国人人口は年々増加しており、これに伴い学齢期の外国人人口も増加している。令和6年6月には入管法が改正され、育成就労制度が創設されたことで、日本に定住する外国人が増加し、今後更なる外国籍児童・生徒の増加が見込まれる。

区では、区立小・中学校に在籍する帰国・外国人児童・生徒を支援するため、梅丘中学校に帰国・外国人教育相談室を設置し、日本語の指導や教科補習を行う補習教室の実施をはじめ、様々な支援を行っている。

補習教室では少人数によるグループ指導を基本としているが、帰国・外国人児童・生徒数が増加する中で、教室数の不足が深刻化していることから、現状のままでは、従来のような少人数でのきめ細やかな指導が困難となりつつある。また、本来であれば、日本語指導だけでなく、慣習や文化の違いなど、多文化共生の観点からも児童・生徒一人ひとりにあわせた指導を実施することが望ましいが、相談員等の不足により、きめ細やかで丁寧な対応ができていない。

日本語の習得や日本文化の理解のための取組みが不十分なことにより、日本の学校に馴染めず、孤立するなどの事例もあることから、帰国・外国人児童・生徒への支援を更に拡充していくことが必要である。

日本語指導や学習支援を必要とする児童・生徒に対して適切に支援することは、学校・学級経営の支援強化にも繋がることから、今後の支援の拡充について報告する。

2 これまでの支援の経緯

区では、平成14年度まで、上北沢小学校、八幡小学校、千歳小学校、梅丘中学校、深沢中学校の5校に日本語適応学級を設置し、日本語指導のセンター校として、他校からの通級も認めていたが、通級には保護者の同伴が必要であることも影響し、利用者数が減少して、ほとんどが自校生徒となってしまった。こうした状況であったことから、平成15年度に、当時のセンター校を「指導支援校」として位置づけ、新たに梅丘中学校にセンター機能を持つ帰国・外国人教育相談室を設置した。相談室では、補習教室の他、保護者や学校からの相談事業、訪問面接、初期指導員の派遣、保護者への通訳派遣などの事業を包括的に実施していくこととした。

3 帰国・外国人教育相談室の支援内容

(1) 訪問面接

初期指導の前後に、当該児童・生徒に合った日本語指導の方針を決めるために、相談員が児童・生徒及び担当教員等と面接を行う。面接の内容を踏まえて、相談員と学校、必要に応じて保護者も交えて、その後の日本語指導について協議する。

(2) 初期指導（実施形態：事業委託 小学校：36時間、中学校：40時間）

帰国・来日したばかりで日本語指導が必要な児童・生徒のために、面接結果を踏まえ、講師の派遣を行う。講師は、児童・生徒の在籍校で、日本語の個別指導を行う。

初期指導では、主に生活言語の習得を目的としている。

(3) 訪問指導・通級指導（実施形態：直営）

小学生を対象に、「初期指導」だけでは「補習教室」に進むのが困難と判断された場合

に、相談員が学校へ出向き、期間を定めて（概ね2か月を限度に）個別に日本語指導を行う。中学生の場合は、帰国・外国人教育相談室に通う形で、個別に日本語指導を行う。

(4) 補習教室（実施形態：直営 隔週土曜日・水曜日）

初期指導後も日本語指導が必要な児童・生徒に対し、主に学習言語の習得を目的とし、帰国・外国人教育相談室のある梅丘中学校にて、日本語指導・教科補習を行っている。

（土曜教室 対象者：小・中学生 水曜教室 対象者：中学生）

特に外国籍児童・生徒は、大半が親の仕事の都合等で来日しており、日本の生活に不安や孤独を抱えていることが多い。そのような児童・生徒にとって、補習教室では、年齢や国籍、日本語レベル等でグループ分けして指導を行っており、同じ境遇や母国語の児童・生徒が学校を超えて繋がることができるため、安心できる居場所としても機能している。

(5) 通訳派遣（実施形態：事業委託）

学校と保護者の意思疎通を図るため、学校から保護者への連絡や説明、保護者会等で通訳が必要な場合に、通訳者を派遣する。また、生活指導上必要な場合は、一部児童・生徒に対しても通訳者を派遣している。

4 帰国・外国人児童・生徒に対する支援における課題

(1) 補習教室における課題

①梅丘中学校における教室数の不足

現在、補習教室は梅丘中学校の教室やランチルーム等を使用し、定員を設けず実施している。講師1人に対して児童・生徒3～5人の少人数指導を行っており、最大24グループで授業を実施しているが、児童・生徒数の増加により普通教室だけでは足りないため、特別教室も使用している状況である。梅丘中学校には今以上に使用できる教室等がなく、更に児童・生徒数が増加した場合、少人数指導が困難となり、質の低下を招くこととなる。

②通学の利便性

居住地によっては、梅丘中学校まで通うのが困難であるという理由で通学をあきらめる児童・生徒もいる。通学の利便性により、教育格差が生じるのは望ましくない。

③補習教室へ通えない児童・生徒への対応

土曜日の都合がつかないなど、家庭の事情で補習教室に通えない児童・生徒もおり、日本語指導を必要とする児童・生徒に支援が十分に行き届いていない状況にある。

(2) 帰国・外国人児童・生徒及び保護者に対する丁寧な学校案内

児童・生徒や保護者が、文化や生活習慣の違いにより、日本の学校のルールを理解することができず、学校で孤立やトラブルにつながるケースが見受けられることから、入学前の案内が必要となっている。

(3) 孤独や不安を感じている児童・生徒への対応

日本語の理解が不十分なことや、文化・生活習慣の違いなどから、孤独や不安を感じている児童・生徒も多い。いじめやトラブルなどにつながる可能性もあることから、対策が必要となっている。

5 今後の方向性

(1) 補習教室の拡充

①まず初めに、教室数の不足を解消し、グループ指導の規模の適正化を図り、その後、日本語指導を必要としている児童・生徒が通学事情等で通えないことがないように、令和8年度以降、順次、次のとおり補習教室を拡充する。また、拡充に合わせ、毎年度、日本語指導講師を4名程度増員する。

	実施年度（予定）	拡充先	受入人数（各拠点最大）	受入人数（全拠点合計）
	現在	梅丘中学校	100名	100名
i	令和8年9月	教育総合センター	50名	150名
ii	令和9年度	用賀中学校	30名	180名
iii		八幡小学校	30名	210名
iv	令和10年度	上北沢小学校	30名	240名
v	令和11年度	千歳小学校	30名	270名

【拡充先の選定理由】

i) 教育総合センター

梅丘中学校の教室不足を解消し、適切なグループ指導体制を確保するため

ii) 用賀中学校

田園都市線沿線に在住の児童・生徒の利便性向上のため

iii) 八幡小学校、iv) 上北沢小学校、v) 千歳小学校

過去に日本語適応学級を運営していたことから、現在は帰国・外国人児童・生徒を支援する「指導支援校」として位置づけられており、帰国・外国人教育相談室とも協力関係にあるため

②順次開設する補習教室の運営及び児童・生徒や保護者に対するよりきめ細やかで丁寧な対応を可能とするため、既存の帰国・外国人教育相談室の職員体制（教育支援嘱託員1名、教育相談員3名）に加え、新たに2名の教育相談員を任用する。（教員経験者を任用予定）

(2) 在籍校における取組みの拡充

日本語指導が必要な児童・生徒は補習教室に通うことを原則とするが、例外として、家庭の事情等で補習教室に通えない児童・生徒には、既存の日本語初期指導（小：36時間、中：40時間）に加え、40時間の補習指導を在籍校で実施する。

(3) 日本語の理解が不十分な保護者等へのきめ細やかな支援

新小学校1年生の外国籍児童と保護者を対象として、入学前に、日本の学校生活の様子や留意事項を説明する入学前オリエンテーションを毎年2月頃に実施する。

また、学校と保護者との面談の際、通訳者にオンラインで参加いただくことで、学校と保護者とのコミュニケーションをより一層スムーズにするなど、日本語の理解が不十分な保護者等に対して、きめ細やかな支援を検討していく。

(4) 孤独や不安を感じている児童・生徒への対応

①留学生による授業支援

現在、国士舘大学との包括連携の一環として、留学中の外国籍の大学院生が、日本語指導が必要な児童・生徒の授業の通訳などを実施しており、不安を抱える児童・生徒の一助となっている。現在は中国籍の留学生に協力いただいているが、日本語指導が必要な児童・生徒の国籍は様々であり、他の区内大学も含めて、連携先の拡大を検討していく。

②研修の実施

帰国・外国人児童・生徒を受け持つ各学校の教員に対し、文化的背景、学習言語と生活言語の違い、思い込みや偏見などによる無意識の差別等に関する理解など、当該児童・生徒への適切な対応及び帰国・外国人教育相談室との連携を速やかにとれるよう、研修を実施する。

6 概算経費（令和8年度見込額）

令和7年度予算額 約 36,000 千円
令和8年度見込額 約 50,000 千円
増減 約+14,000 千円

<特定財源>

都支出金 東京都教育支援体制整備事業補助金（補助率2/3）約 33,000 千円

7 今後のスケジュール（予定）

令和8年 9月 教育総合センターで補習教室を実施
令和9年 2月 新入学の小学1年生を対象に入学前オリエンテーション実施
秋頃 八幡小学校・用賀中学校で補習教室を実施
令和10年度 上北沢小学校で補習教室を実施
令和11年度 千歳小学校で補習教室を実施